

全専攻		専攻選択科目			
		1年	後期	2単位	選択
寒冷地域環境論 Introduction to Cold Region Environmentology		担当者(部屋番号)			
		関 康秀 (815)			
【 授 業 目 標 】					
<p>日常性あるいは風土伝統に根ざす寒冷地生活環境問題を明らかにし、より健全かつ快適な生活手段系の意識的構築を目指す。</p> <p>寒冷地域の国内での位置づけからはじめ、寒地環境を、冷熱環境という視点から見直す。さらに寒冷地域特有の課題を順次列挙理解し寒冷地で生活していく際に現状がはらんでいる問題点を浮き彫りにした上で、現時の対処法の吟味をつづける。それから自然に導かれるかもしれない、進んだ課題解決への方途を探り将来展望を考究してゆくこととする。</p>					
【 授 業 方 法 】					
<p>スライド映像表示を用いた説明を原則とする。</p> <p>その上、各自有効に利用して内容を確認咀嚼できるように資料のコピーを併せて配布する。</p>					
【 授 業 計 画 】					
<ol style="list-style-type: none"> 1 寒冷地観 T.S.Eliot／小林一茶、気象観測地点、データ解析方法 2 寒冷地の枠組み(温度・緯度・経度・暖房度日)、散布図法 3 寒冷地の要素(平年気温・標高・降雪・積雪深・積雪日数・最大風速・相対湿度・日照時間) 4 寒冷地の指標(日積算温度・暖かさの指数・寒さの指数・積雪積算値・アムランの北方指数) 5 寒冷地の熱環境(気圏・地圏・水圏・雪氷圏・生圏) 6 雪(成因・分類・雪質・結晶)、雪華図説、温度(華氏、摂氏、絶対温度K) 7 日本の雪と氷(冠雪、雪レイス、雪えくぼ、雪輪、根開き、雪紐、雪まくり、スカブラ) 8 日本の雪と氷(樹氷、氷板、空氷、氷球、氷紋、御神渡、釜穴、ハスの葉氷)、低温と生物 9 寒冷地での生活(北越雪譜) 10 熱用語(熱伝達・熱量・熱貫流率・熱損失・暖房負荷・省エネルギー基準) 11 寒冷地での衣生活 12 寒冷地での食生活 13 寒冷地での住生活 14 寒冷地域計画論 15 まとめ 					
教 科 書	特になし。		評 価 方 法	受講態度(出席、欠席届、質問、討論)×2+試験(レポート)得点。	
参 考 書	特になし。		留 意 点	瞬時の視覚による受容だけでは十分に消化吸収できるとは思われないので、配布資料を検討、復習などに無駄なく活用することが絶対に必要。	